

# 真珠振興法の制定とその意義

## 赤松蔚氏

八月二十八日から三十日まで東京ビッグサイト(東京都江東区有明三丁目)で開かれた「ジャパンジュエリーフェア2017」の「業界セミナー」で、ミキモト真珠研究所元所長で日本真珠振興会参与の赤松蔚氏が「真珠振興法の制定とその意義」と題して講演した。講演の内容を紹介する。

昨年六月一日の「真珠の日」に「真珠の振興に関する法律」が成立。平成十年に廃止された「真珠養殖事業法」との違いについて赤松氏は「目的の一つに『真珠に係る宝飾文化の振興』が加わったことが以前の法律と違う」と語る。

「真珠は最初から世界の宝飾文化に貢献したグローバル商品だった。お茶やお



花とは明らかに違い、素材を世界に提供したのだから、昔から宝飾文化はあったと胸を張って言えば良い」と語る赤松氏。脈々と根付いてきた日本の真珠文化について、宝飾品▽進物▽鎮魂具▽鎮魂▽薬用▽御神宝「御白玉」の六つの側面について語る。

時代を縄文まで遡り、日本産アコヤ天然真珠の宝飾

文化的特長について話し始めた赤松氏。特長は、ペルシャ湾などに比べ、アコヤ貝の生息数が少ない▽宝飾品として使用するにはサイズの小さいものが多い▽近隣に大きな宝飾市場が存在しなかった一などで、同氏はペルシャ湾で真珠が採取されていたことや、茶津貝塚、岩谷洞穴で出土した真珠、正倉院宝物真珠の大半は聖武天皇の御冠残欠であることなどを紹介する。

奈良時代には鎮魂具七宝の一つとして仏教寺院を置くために地を鎮める祭り、儀式で用いられた。興福寺の中金堂跡の調査で真珠が発見されたほか、我が国最古の寺院とされる奈良県明日香村の飛鳥寺の塔跡で昭和三十一年に見つかった「塔心礎(磁石埋蔵物)」

(飛鳥時代)に真珠十四点が含まれていたと奈良文化財研究所が七月に発表している。

太安万侶の真珠は、昭和五十四年の発掘調査で四点点出土したが、火葬された遺体の埋葬時に添えられたもので、アコヤガイ真珠と断定されている。江戸時代には真珠は薬用、主として目の薬に使用され、「和漢三才図絵」(1712年)のアコヤ貝と真珠に関する項目には、産地や薬効が記されている。伊勢神宮式年遷宮時には「御白玉」として献納されており、昭和四年の第五十八回式年遷宮以降、水晶玉、ガラス玉に代わり、用いられている。

見瀬辰平の誘導式、西川藤吉のピース式、御木本幸吉の全巻式と養殖真珠の相次ぐ発明により、真珠宝飾文化はついに開花する。第二次世界大戦からわずか四年後の昭和二十四年、アメリカの雑誌「LIFE」十一月十一日号の表紙を真珠のネックレスをした女性の写真が飾った。

昭和二十七年に「真珠養殖事業法」が制定されたが、注目すべきは真珠の輸出検査。真珠の価値を決める要素に、希少性▽耐久性▽美しさがあがるが、耐久性の検査基準である「マキ」を調べるのにX線による厚検査を導入し、養殖期間三年以上を宝石、二年位を高級宝飾品、一年位を普通宝飾品とした。

現在では養殖期間が最短で六カ月の商品もあるが、赤松氏は「果たして宝飾品といえるのか」と疑問を呈する。「宝飾文化を支えるにふさわしい品質であるかを振り返って考える必要がある」と呼び掛ける。

欧米では「いかに自分を美しく見せるか」という場面で見られるのに対して、日本では冠婚葬祭で用いたり、毎年十月二十二日に三重県志摩市賢島の真珠貝養殖場で「真珠をつくって来てあげよう」とアコヤ貝を供養するなど、魂が入っていたという感覚、欧米とは違う感覚を古来日本人は持ってきたのだ。

平成十年の真珠養殖事業法廃止後、赤松などの自然災害発生、真珠産地のグローバル化、花珠鑑別など多様化した品質基準の問題など、業界を取り巻く環境変化が見られる。赤松氏は、昨年の真珠振興法制定施行を機に「真珠はも

う少し表現、伝達の間を設けるべきである」と語る。真珠宝飾文化の三要素として、宗教▽芸術▽科学を上げた赤松氏。宗教とは、コンセプトを明確にし、ジャパン・ブランドである歴史・伝統を打ち出せるか、芸術とは、どうメッセージとして伝えるか、科学とは具現化であり、商品の品質や素材、デザインの見直し、労働集約型で量産大のものをづくりから少量高品質への転換が必要、などと説明した。

最後に、教育によるメッセージ伝達、若い人材の育成について言及した赤松氏は、「中国のアコヤ真珠はほとんど生産されていないと語る。小山氏は「希少性にこだわってやっている」とも語り、2008年5月に「本当に良い真珠とは何かを組合員がわかっていく」との目的で事業開始した特選真珠についても今般、①「グランパール」「ランド」「パール」を合わせた造語、②の2カテゴリーに分ける。従来の「特選真珠」を①「グランパール」と位置付け、②の中でも全ての品質が最高の商品と位置付ける。「グランパール」と「サパール」のロゴも篠塚氏がデザインしたとい

## 7月輸出は6億4165万円 昨年比2.4%減、数量は倍増

七月の真珠輸出実績は、全体で1624貫795匁、金額にして6億4165万1千円となった。昨年7月比では、数量が235.2%増、金額では2.4%減となっている。

これを母貝別に分けると、アコヤ真珠は1370貫403匁で530%の増、4億7228万8千円で10%の増であった。当分の平均単価は345匁で、昨年7月の197匁より82.5%の減少ということになる。香港への単価が昨年7月の1906匁から187匁へと大幅に下落したことが大きく影響している。

白蝶・黒蝶真珠は17貫296匁で45.1%の減、1億2892万円で32.5%の減ということになり、当分の単価は7454匁と、

昨年の6059円から23%の伸びを示した。

注目されるアメリカ向けの輸出は253貫47匁(1.8%減)、1億994万1千円(11.3%減)で、当分で見ると昨年の4800円から4344円に減少している。内訳はアコヤ真珠が22貫350匁で、4.2%の減、9449万1千円で10.6%の減であった。白蝶・黒蝶真珠は655匁で、86.7%の減、315万7千円で75%の減であった。

これに対して中国向けは12貫984匁(25.1%増)、7622万3千円(238%増)、香港向けは12貫87匁(114.9%増)、2億4056万7千円(22.5%増)という数字を示している。香港向けは、アコヤ真珠の輸出単価大幅下落の影響が、数

量、金額ともに大きく出ている。

それ以外の国々は、金額ベースで、シンガポール、インド、タイ、韓国などが減少、タイ、イギリス、スイス、ドイツなどが増加となっている。

ジュエリーコーディネーター 3級認定試験 来年3月7日

日本ジュエリー協会(東京都台東区東上野、中川千秋会長)は来年三月七日、同協会認定「ジュエリーコーディネーター検定」3級認定試験を東京、大阪、名古屋など全国八カ所で開催する。午後二時十五分から試験説明があり、試験時間は二時半から四時半。「ジュエリーコーディネーター」は同協会の登録商

標で、検定資格制度創設から二十一年を迎えた現在の3級試験合格者は二万人以上。3級は、ジュエリーの歴史、市場、素材、商品、販売やコーディネーターに関する基礎知識を持ち、消費者に説明、接客、販売ができる人材としている。申込期間は、十二月一日から来年一月十五日までで、法人の申込は一月十一日に締め切る。受験資格は、学歴、年齢、性別、国籍に制限はないが、日本国内に連絡可能な住所があることが必要。

八月二十八日から三十日まで東京ビッグサイト(東京都江東区有明三丁目)で開かれた「ジャパンジュエリーフェア」に出展した日本真珠輸出加工協同組合(奥田一弥理事長は、同フェアの来場者らに対し「P E

P C A(日本真珠輸出加工協同組合)の「特選真珠」についてと題したプレゼンテーションを行った。小山藤太副理事長によるプレゼン内容を紹介する。

小山氏は、1955年9月に設立された同組合について「日本真珠振興会傘下の組合で、買付けを経て加工する。市場でいえば仲買人。生産者と小売店の間を担う中間卸の中枢で、何が一番価値のある真珠かを知っている団体」と説明。「九十六社のプロの会社が加盟している組合で、美しさと価値が合致する目を持つプロ集団だと自負している」と説明する。

今後の「特選真珠事業」については「本当に価値、バリエーションのある真珠を用意していく」と決意を語る小山氏。展示会ではこの商材を求めてアースに中国人が殺到するなど、香港、中国でヒットアップしている状況だが、「中国語版の案内も準備している。我々が書いた言葉で販売者に伝わるようにしていきたい」と締めくくった。

■ 2017年7月真珠輸出実績 ■

	合計		天然真珠		アコヤ真珠		白蝶・黒蝶真珠		その他の真珠	
	数量(匁)	金額(T円)	数量(匁)	金額(T円)	数量(匁)	金額(T円)	数量(匁)	金額(T円)	数量(匁)	金額(T円)
香港	1,287,027	240,567	0	0	1,283,420	213,913	1,541	19,632	2,067	7,022
アメリカ	253,471	109,941	0	0	22,350	94,491	655	3,157	230,466	12,293
スイス	1,799	12,203	0	0	1,799	12,203	0	0	0	0
ドイツ	3,079	12,136	0	0	2,963	11,465	0	0	116	671
イタリア	4,313	11,236	0	0	4,313	11,236	0	0	0	0
タイ	6,095	22,423	0	0	5,784	18,520	312	3,903	0	0
ベルギー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インド	34,014	23,919	0	0	31,469	21,910	2,545	1,979	0	0
台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フランス	371	1,741	0	0	371	1,741	0	0	0	0
韓国	3,133	11,069	0	0	3,133	11,069	0	0	0	0
イギリス	2,488	12,481	0	0	2,436	11,099	27	665	25	717
中国	12,984	76,223	0	0	2,442	19,878	6,119	36,605	4,422	19,740
オーストラリア	51	384	0	0	51	384	0	0	0	0
カナダ	803	3,590	0	0	232	2,076	571	1,514	0	0
シンガポール	8,311	76,405	0	0	3,838	21,056	4,674	55,349	0	0
ベトナム	1,336	5,547	0	0	1,336	5,547	0	0	0	0
オーストリア	1,243	2,404	0	0	1,243	2,404	0	0	0	0
スウェーデン	1,416	6,392	0	0	1,416	6,392	0	0	0	0
オランダ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カンボジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マカオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マレーシア	1,626	5,652	0	0	914	3,816	712	2,336	0	0
スペイン	615	1,560	0	0	615	1,560	0	0	0	0
ロシア	620	5,778	0	0	479	1,998	141	3,780	0	0
合計	1,624,795	641,651	0	0	1,370,403	472,288	17,296	128,920	237,096	40,443

注1 金額のみ記載のものは、数量が統計単位のグラムに満たないため。  
注2 数量はグラム及びキログラム表示のものを欠陥品としたため、合計数値は必ずしも一致しない。(日本貿易統計)